資料４

大阪がん患者会団体協議会について

大阪がん患者団体協議会は、大阪府下のがん患者団体がより一層の結束と、がん患者・家族（遺族）のQOL向上を目的として、結成されたがん患者団体の連合体です。

がんの治療が始まると、患者さんの多くは治療や生活のこと、後遺症や治療の副作用、再発の不安といったものが過ります。がん患者・家族（遺族）にとって、医療に対する期待、行政に対する要望、がん患者同士の助け合いや交流の普及など、多くの課題に直面します。各がん患者団体はそれぞれの立場や考え方に基づいて、がん患者・家族（遺族）の支援活動をサポートしていますが、これらの活動団体が連合体として結束することによって、更なるＱＯＬの向上が期待できます。がん患者・家族（遺族）の暮らしやすい社会づくりのために、患者団体の想いを集め暮らしのルールを創るため活動をしています。

具体的な主な活動としては、

1. 行政との協働…

・大阪府がん対策推進委員会への委員推薦

・意見交換会の開催

・後援事業の開催

1. がん拠点病院との連携

・相談支援室との情報交換

・院内サロンの活性支援への参画

・協働講座等の開催

1. がん患者団体間の交流

・定例会・勉強会の実施

・加盟団体協働事業の開催

・がん対策イベントへの参加

1. 新規団体の育成プロジェクト

・がん患者団体の設立支援

・運営に関するサポート

・助成金申請に関すること

・情報交換や交流会

・パンフレット・ホームページの作成

　などです。

現在（2019年）は、18団体が加盟されています。

今後は、会員相互の情報交換や相互扶助・連携を強化し、更なる活動の幅を広げながら、もっと多くのがん患者・家族（遺族）の皆様、及び、がん患者団体の支援に貢献したいと考えております。